



創刊号

マリア・レポート

城星学園報道局

12月16日発行

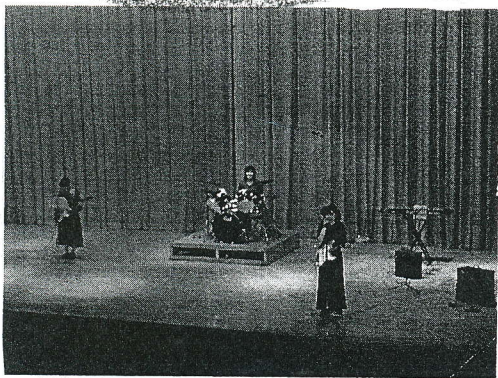
マリア・レポート発行にあたり

二学期も終わり、年の瀬が近づいてまいりました。あわただしい日々が続いておりますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

このたび、城星学園では城星学園報道局が発足いたしました。上町台地の情報誌である「うえまら」の紙面や本校のホームページなど様々な媒体で学園での取り組みや地域の出来事を皆様にお伝えしています。

このマリア・レポートは城星学園中学校・高等学校での出来事を中心にお伝えします。様々な方にご尽力いただきまして、発行することができましたこと、厚く御礼申し上げます。

マリア・レポートとは本校と関係の深い二人のマリアにあやかってお名前をいただきました。まずは主イエス・キリストの聖母、マリアです。校門や教室、廊下といういろいろなところでいつも私たちを見守ってくださっています。二人目はマリア・マザレロです。マリア・マザレロは堅固な信心、疲れを知らない勤勉さでドン・ボスコとともに活動し、サレジアン・シスターズの創始者となりました。このような素敵な女性に少しでも近づけることをねがっております。本紙の記事は城星学園報道局の局員(生徒)が実際に取材し、寄稿したものです。彼女達のエネルギー溢れる学園生活の一部をぜひ御覧ください。



→ 城星フェスタでの軽音楽部
舞台発表の様子



← 屋上からの城星フェスタの様子

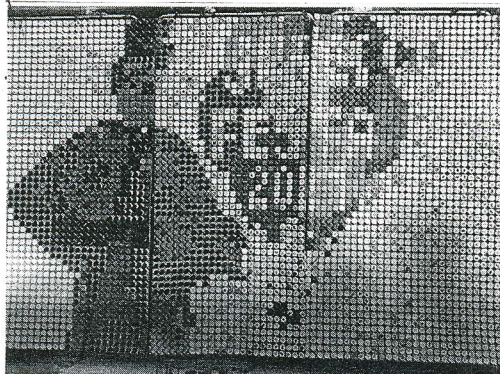
城星中高生徒会礼讃

こんにちは。城星学園報道局です。今回私は城星フェスタでの生徒会の活動について取材しました。当日生徒会では餃子販売を行っていました。私も一つ購入してみたところ、外はカリカリ、中はジューシーな餃子でとても美味しくもう一つ食べたくなる程の味でした。売れ行きも好調でお客様は皆、美味しそうにはおぼつておられ、販売する生徒会の接客の様子も笑顔でとても楽しそうでした。城星フェスタでは、もう一つ生徒会の作品がありました。それはペットボトルのキャップアートです。開催日に間に合わせるため、ずっと前から遅くまで毎日学校に残り、一つ一つ丁寧に作りつけてきたものです。私もクラスで頑張る彼女たちの姿をずっと見てきました。本番当日話を聞くと、「一番大変だったけど、やりがいも大きかった」と語ってくれました。出来あがった作品も生徒会の皆さんの努力がとてもしっかりと感じられるものでした。城星フェスタ成功の裏には生徒会の皆さんの活躍がおおいに関わっており、私たちのために人一倍頑張ってくれていました。本番を向かえるためのさまざまな準備はとて大変なことですが、大切なことだと改めて感じました。

生徒会の活動はフェスタだけではなく、もう次の問題について話し合っているそうです。そんな生徒会をこれからも応援しつづけたいと思います。

高一 E・K

上：生徒会作成のペットボトルのキャップアート
下：城星学園・大阪星光学院両校の生徒会役員



星光学院とともに

私は、大阪星光学院と城星学園の合同合唱について取材しました。大阪星光学院合唱同好会の方々に話を伺いました。「とても緊張したけど楽しく歌うことができた」ということでした。城星フェスタでは、お互いの学校の愛唱歌である「ヴェリタス城星」と「ヴェリタス星光」の春夏秋冬の春と夏の章を城星生が、秋と冬の章を星光生が歌いました。また、大阪星光学院合唱同好会はアカペラで「チェリー」を発表してくれました。

高一 S・W